

「行政法1」

ADMINISTRATIVE LAW / VERWALTUNGSRECHT

担当: 森 稔樹 (大東文化大学法学部教授)
TOSHIKI MORI, PROFESSOR AN DER DAITO-BUNKA
UNIVERSITÄT, TOKYO

開講にあたって

この講義の目的・目標(1)

- 行政作用法総論の基本的な事項を理解する。
- 行政作用法総論の諸問題について、論理的な文章による説明を行える。
- 様々な政治的問題、社会的問題を法的に思考し、論述しうる能力を身につける。
- 各種試験(公務員試験、行政書士試験、司法試験など)のための基礎固めをする。

この講義の目的・目標(2)

- 法学検定試験の問題を解けるようになる。
- 公務員試験の短答式(択一式)問題を解けるようになる。
- 司法試験の論述式試験に向けての基礎的学力を身につける。
- 国家や地方公共団体の活動の在り方を考える。

教科書と六法

- 教科書：櫻井敬子・橋本博之『行政法』〔第4版〕(2013年、弘文堂)
- 六法は、最新のものを用意すること(行政不服審査法全面改正、行政手続法の一部改正などがあるため)。
- プリントを配布することもある。
- スライドを使用する(K-SMAPYでファイルを入手可能とするように準備しておく)。

参考文献(1)

- ◆塩野宏『行政法 I 』〔第五版補訂版〕
- ◆芝池義一『行政法読本』〔第3版〕
- ◆宇賀克也『行政法概論1行政法総論』〔第5版〕
- ◆藤田宙靖『行政法総論』
- ◆中原茂樹『基本行政法』〔第2版〕
- ◆黒川哲志・下山憲治編著『確認行政法用語 230』

参考文献(2)

- ◆宇賀克也・交告尚史・山本隆司編『行政判例百選 I 』〔第6版〕
- ◆橋本博之『行政判例ノート』〔第3版〕
- ◆高木光・宇賀克也編『行政法の争点』
- ◆高木光・稲葉馨(編)『ケースブック行政法』〔第5版〕
- ◆その他、随時紹介する。

成績評価

- 出席：参考程度。但し、5割未満の場合には成績がつかない(病気など、やむをえないと認められる場合には考慮する)。
- 夏季休暇課題
- 期間内試験(参照一切不可)
- 小課題

注意事項

- 教科書の通読(とくに復習が重要！)。
- ノート(またはカード)づくり(手を動かす！)。
- 答案練習(期末試験などの過去問は<http://kraft.cside3.jp/PrVwR0.htm>で公表)。
- 憲法学のうちの人権論と司法権の部分をよく学習しておくこと！
- 民法総則、とりわけ法律行為論をよく復習しておくこと！
